学校だより
「One-up」通信

令和３年４月９日（金）
水戸市立見川中学校
NO:　１（令和３年度）

スローガン「団　結　－共によくなるために－」

令和３年度　スタート　第１学期始業式

４月６日（火），新任式，第１学期始業式が行われました。

教科書授与として，２年生の永井さん，３年生の野中さんが，学年を代表して校長先生より新しい教科書の授与を受けました。その後，学年の抱負を２年生の川井さん，３年生の村上さんが立派に発表をしました。

校長先生の話として，「１点目として，夢や目標をもち努力をしてほしい。目指すものがあれば人や集団は成長することができる。共によくなるために共に頑張りましょうということ。２点目として，見川中生として誇りをもってほしい。失敗をしたとしても素直に謝れる。失敗を次の成長へつなげられるようにしようということ。新年度にあたり，新たな出会いのなかで新たな自分をつくるとともに，仲間や先生と共に，夢や希望に向かって成長しましょう。」とのお話をいただきました。

三年生の抱負

三年　村上　碧斗

今日から僕たちは見川中の最上級生になりました。まだ，あまり実感はありません。卒業された頼もしく，優しかった先輩方と同じ立場にいる。その責任の重大さは春休みの間から，日増しに感じています。

さて，三年生となり，残された中学生としての時間は一年弱となりました。この少ない時間の中で悔いを残さないために，三年生の抱負を立てました。

まずは，部活動についてです。僕はバスケットボール部に所属しています。基礎中の基礎であるドリブルがとても苦手です。一，二年生の練習で手を抜いてしまったためです。基礎ができていないため，僕はバスケを好きになれませんでした。しかし，このまま三年生となり，刻々と迫る引退を待つだけでいいのかと考えました。はじめは，「別にそれでもいいや」と思いました。しかし，部の仲間たちが必死に練習している姿を見ていると，次第に本気でバスケをしてみたいと思うようになりました。引退までの間，仲間たちと共に，本気で部活に向き合いたいと思います。

次に学習についてです。三年生は受験があります。僕は勉強が得意ではありません。それでも，高い目標を設定し，その志望校を目指しています。そして，進学した先で，自分の目標をもって色々なことに挑戦してみたいと考えています。勉強との両立が簡単ではないことは理解しています。しかし，そこであきらめるのではなく，困難に打ち勝つために本気で学習に取り組みます。

最後に，色々な先輩方に中学校生活で一番記憶に残っている学年は？と聞いてみました。すると，多くの先輩方が三年生だというのです。これからの一年間に期待しつつ，悔いを残さなくてすむよう学習，行事，部活につくし，最高の一年にしたいと思います。

更なる高みへ

二年　川井　和巳

僕は、中学校入学を機に、この見川中学校区に移ってきました。そのため、みんなとは違い、勉強や部活動のことよりも「人間関係」に大きな不安を抱きながら入学しました。入学式翌日からの休校のこともあり、初めのうちはあまり人間関係を築くことはできませんでした。しかし、時間がたつにつれ同級生のいい部分がわかってきて、友達と呼べる人がたくさん増えました。そのおかげで、たくさんの出会いとともに、たくさんの学びがあった一年にもなりました。

さて、みなさんの今年の抱負は何でしょうか？私は『「テスト」と「部活動」どちらもがんばる』です。きっと，多くの人が私と同じではないでしょうか。

テストに関しては、思ってような結果が出た時も出なかった時もありました。結果が出ない理由は、自分自身で分かっています。それは、「自分の甘さ」です。何かと理由をつけて勉強をさぼったときに、必ずと言っていいほど失敗してきました。そのため、今年度は、自分に厳しく勉強と向き合っていきたいと思います。

部活動では、自主練を怠っていたため、友達との差が広がる一方でした。僕は、陸上競技部に所属しています。陸上競技は、結果が数字で出るため、努力の量は一目瞭然です。これまでの悔しさを、今年度こそは大会で晴らしたいと思います。そのために、どんなに辛い練習にもくじけず、自分に厳しく最後まで取り組みたいと思います。

今年度の抱負を書いてみて感じたのは、勉強にも部活動にも共通して言えることがあるということです。それは、「自分に厳しく」です。自分に厳しく、努力することで目指していきたいです。更なる高みを…